

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input checked="" type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	教員養成における新しい授業研究方法の開発 — 「みえ」の共有を通じた授業リフレクシオン—
報告者氏名・所属・職名	小泉 匡弘・旭川校・准教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	小泉 匡弘・旭川校・准教授
研究内容及び成果の概要	
<p>本研究は、教員養成において学生が授業に生きるわざを学ぶため授業研究方法を開発するため、これまでにない授業リフレクシオンを試行的に実践しその教育効果を明らかにすることを目的として行った。</p> <p>1. 熟達教師のみえを通じた授業研究 熟達教師が授業中にみえている事実についてウェアラブルカメラを用いて撮影し、その映像を熟達教師と学生で共有しながら授業リフレクシオンを行った。この授業研究から、学生は熟達教師のテクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルおよびメタ認知スキルに関する多くの実践知を学んだ。</p> <p>2. 授業者・学習者・参観者の映像を活用した授業研究 学生が行う模擬授業の中で、授業者（学生）・学習者（学生）・参観者（熟達教師）がウェアラブルカメラによって授業中のみえている事実を撮影し、その映像を共有しながら授業リフレクシオンを行った。三者の映像を用いることにより、授業者の主観から発した問いに対して学習者の主観が交錯し、授業を問主観的に省察でき、さらに、熟達者の主観が補強されることによって、より高次の省察が可能になった。</p> <p>授業者の主観を軸に授業研究を行うことによって、熟達教師の行為のみならず、認知および判断といった内面にあるわざも学べるようになった。</p>	
成果の公表の状況	
<p>【著書】 小泉 匡弘（2019）『熟達教師の「みえ」を伝える教員養成の取り組み』，姫野・生田編著「教師のわざを科学する」，一莖書房，pp.188-197.</p>	
教育現場で活用可能な分野・教材等	
校内研究・教員研修などの授業研究において、各教員のわざの継承・共有の方法として援用できる。	
配布又はダウンロード可能な資料	
問合わせ先	代表者：小泉匡弘 電 話： 0166-59-1316 FAX ： 0166-59-1316 mail ： koizumi.tadahiro@a.hokkyodai.ac.jp